

市民が主役！躍動するまち 多治見

# たじみすと

Tajimist

1

2026  
No.2396  
令和8年1/1 発行  
広報たじみ

多治見市 LINE



特集

## Sport for All

～人を笑顔に、まちを元気に～





# 第7回 フォトコンテスト

## 入賞作品紹介

問 秘書広報課  
☎ 22-1372

Instagram



撮影者 

@bobtajimiさん

撮影場所

国長橋

令和6年11月1日～令和7年1月5日  
までの期間で実施をした第7回フォト  
コンテストの入賞作品を1作品ずつ  
フォーカスして約1年にわたって紹介し  
ていきます。

### 撮影者からのひと言

雨上がりの朝、土岐川の堤防道路を散歩中にふと目に飛  
び込んだのは、まるでウユニ塩湖を思わせる幻想的な風  
景でした。地面に広がる薄い水面に空の青と雲の白、市民病  
院と駅前のタワマンなどが映し出され、そこに愛犬と散歩中  
の人がフレームインすると、まるで映画のようなワンシーン  
となりました。

目線を少し下げた事で見えてくる素晴らしい風景が広が  
る多治見が大好きです。



2026

1

## CONTENTS もくじ

- 02 - フォトコンテスト入賞作品紹介
- 03 - 新年のご挨拶／2025年度10大ニュース
- 04 - [特集] Sport for All  
～人を笑顔に、まちを元気に～
- 08 - 美術・文化情報／民生委員
- 09 - 生活情報／土岐川観察館／地球村／広告募集
- 14 - パブリック・コメント／し尿処理 など
- 16 - 相談窓口／定期健診
- 18 - 健康情報／スポーツ情報
- 19 - 市・県民税の申告、所得税の確定申告受付 など
- 23 - き業展／たじみビジネスプランコンテスト など
- 24 - バロー文化ホール情報／夜間在宅当番医 など

- 26 - コラム(青と緑の物語／市民病院だより／地域力／  
子どもの権利を考えよう)
- 29 - マイタウンホットニュース
- 30 - 第3回たじみこどもフェスタ



### 今月の表紙

11月に開催した市民と市長の意見交  
換会に参加いただいた皆さんです。TYK  
スポーツパーク多治見(多治見運動公  
園)の多目的広場で撮影しました。今月号  
の特集で、意見交換会の様子を紹介して  
います。

# 謹賀新年

皆さまにおかれましては、新春を健やかにお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、18歳までの医療費無償化や第2子以降の保育料無償化の開始、TYKスポーツパーク多治見（多治見運動公園）のリニューアルオープン、企業版ふるさと納税を活用した南坂上公園の大型遊具整備など、新たな政策にチャレンジした年でした。

本年は、これまでの取り組みを基にさらなるまちの発展を目指します。複数の大型建設事業が完了する予定で、新しい「北消防署」、「笠原小中学校」および「笠原こども園」の供用が始まります。また、令和9年4月には、中京学院大学が当市に移転し開学する予定で、多治見市はもちろん東濃地域全体のさらなる発展が期待されます。

新たな年の幕開けを迎え、市民の皆さまとともに、「市民が主役！躍動するまち多治見」の実現を目指し、引き続き努力してまいる所存です。

結びに、皆さまの一年のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



令和8年1月 多治見市長

高木 貴行

二〇二五年多治見市

10  
大ニュース

- ❁ 多治見市子育て・子育て応援大使に小野あつこさん、子育て応援キャプテンに絵本「くまのがっこう」のジャッキーが就任（1月）
- ❁ 養正交流センターオープン（4月）・南坂上公園遊具整備工事完了（2月）
- ❁ 市民病院で産後ケア受け入れを開始（4月）、市内初の医療機関併設型の病児保育を開始（9月）
- ❁ 子どもの医療費助成範囲を18歳まで拡大・第2子以降の保育料無償化（4月）
- ❁ TYKスポーツパーク多治見（多治見運動公園）リニューアルオープン（7月）
- ❁ 中京学院大学との間でキャンパスの多治見市移転三元化に係る基本協定書を締結（7月）
- ❁ 多治見修道院建物調査実行委員会立ち上げ（9月）
- ❁ 第37回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねりんピック岐阜2025）開催（10月）  
※多治見市ではパドルテニス交流大会を開催
- ❁ 花火大会初めての秋開催（11月）
- ❁ 自動運転バス（レベル2）、ホワイトタウン外周路でテスト走行（11月～12月）





特集

# Sport for All

～人を笑顔に、まちを元気に～

問 秘書広報課 ☎22-1372

市では、「市民が主役のまちづくり」を目指し、毎年テーマを決めて「市民と市長の意見交換会」を開催しています。令和7年度は、TYKスポーツパーク多治見（多治見運動公園）のリニューアルオープン、ねんりんピック岐阜2025の開催（多治見市ではパドルテニス交流大会を実施）など、スポーツに関する出来事が多くありました。このタイミングに合わせた今回のテーマは「スポーツ」。年齢、障がいの有無、性別に関わらず、スポーツを楽しみ、誰もが生き生きと健康に暮らせるまちを目指すため、日頃スポーツに親しんでいる市民の皆さんと市長が意見交換を行いました。



参加者8人それぞれに、  
日頃親しんでいる  
スポーツの魅力や取り組み  
について  
話していただきました。

#### パドルテニス



市のパドルテニス交流大会に参加したのをきっかけに16年くらい夫婦と一緒にパドルテニスを楽しんでいます。今年10月には、多治見市でねりんピック岐阜2025のパドルテニス交流大会が開催され、多くの県外の選手の皆さんと交流できました。

#### スケートボード



これまででは、近所の公園でスケートボードをしていましたが、狭くて危ないと感じており、スケートボードパークの設置について自分たちで署名活動をし、市にも要望を出し、管理方法を提案するなど活動してきました。

一昨年、星ヶ台にスケートボードパークができ、家の近所にスケートボードができる環境ができてとても嬉しいです。色々な年齢の人と交流をしたり、上手な人に教えてもらったりしています。練習を積み重ねて技を習得するのが楽しいです。



私自身、スポーツの可能性を信じてやまない、スポーツが大好きな人間です。スポーツには、生涯スポーツなど健康増進、地域のコミュニケーションのきっかけづくり、ビジネスとして人を集める経済効果など、さまざまな力があると思います。

#### 野球



現在、スポーツ少年団の本部長を務めています。スポーツ少年団には「スポーツの楽しさを子どもに伝える」「スポーツを通じて、青少年の健全な育成に寄与する」「スポーツを通じて人々をつなぎ地域に貢献する」という3つの理念があります。

#### エクステラ



子どもの頃は体が弱かったのですが、水泳を始めて体が強くなりました。今は、水泳、マウンテンバイク、トレイルランニングの3種目を海や山など自然環境の中で行うエクステラという競技で、国内外の大会に参加しています。

#### サッカー



もともとプロのサッカー選手として活動してきました。現在は、多治見市へ移住して、子どものキャリア教育や総合型地域スポーツクラブという形で陸上、サッカーのトップチームを運営する企業で働いています。プロスポーツ選手のセカンドキャリアの支援というコンセプトの「VOYAGERS(ボイジャーズ)」というサッカーチームで選手としても活動しています。

#### ボッチャ



日頃、太極拳やボッチャを楽しんでいます。市の健康推進づくり推進員も務めており、市のウォーキングイベントなどにもかかわっています。ボッチャは、審判の資格をとって、小学校のボッチャ教室などに赴いて審判なども務めています。

老人会の集まりで、偶然ボッチャを見かけて、仲間とやってみようと思いました。ボッチャは夏場の暑い時でも室内で楽しみ、大人から子どもまで誰でもできるという点で地域のつながりをつくるのによい種目だと思います。



意見交換会は令和7年にリニューアルオープンしたTYKスポーツパーク多治見内の星ヶ台管理棟の会議室で行いました。





スポーツが持つ力を、市民の健康増進から、地域経済の活性化、世代を超えた交流の促進など、市のさまざまな施策と連携することで「スポーツを通じたまちづくり」につなげられるのではないかと、今回はそんな視点で皆さんから、さまざまな提案、ご意見、展望を話していただきました。

18ページにスポーツに関連する情報を掲載しています。

## スポーツを通じて 地域の人と人をつなぐ

市民

私たちの地域のクラブでは参加者が減ってきています。市外からの参加者も含めてなんとか維持している状況で、参加者を増やすため、体験イベントなどを開催して頑張っています。

市長

子どもたちだけでなく、一般の方のクラブ、サークルの存続も厳しい状況にあることがよくわかりました。クラブ活動を通して、多くの方に出てきてもらって一緒に活動するのは地域のつながりをつくる良いきっかけです。わたしたちもPRなど協力できるよう考えていきます。



市民

地域のスポーツサークルなどに積極的に参加してくれる人がいる一方でなかなか声をかけても出てきてくれない、参加してくれない人がいます。そういう方たちにもぜひ出てきていただいて、**地域の人々で触れ合える**といいと思います。

市長

生きがい、楽しみ、地域の方との触れ合いを作り出す観点から、市の社会福祉協議会の運営するサロンの健康麻雀開催を支援しています。高齢者の方が集まりやすいような取り組みを市も考えていきます。



市民

広報で、いろいろな大会の結果を掲載していただくと競技に取り組む人のモチベーションにつながるのではと思います。市民の皆さんにより多く活動を知っていただくためにも、そういった機会を作っていただけると嬉しいです。

市長

市のスポーツ協会が「ITASA」という冊子を発行しており、大きな大会などで活躍した市内の選手を紹介しています。市としても、情報発信の方法を考えていきます。

市民

元気な女性が多くて、わたしのサークルにはどんどん人が集まってきています。色々な活動に参加できる機会があり、今のところ、**市の健康づくり、生涯スポーツの取り組みに満足**しています。

市民

多治見市は**スポーツ体験の場が少ない**と思います。スポーツはやってみないと楽しさがわからないと思います。共働きの世帯が増えていて、親の事情で子どもがスポーツできないこともあると思います。**子どもたちにスポーツに触れ、楽しむ機会を提供**していきたいです。

市長

市民の方がスポーツに触れ、親しむ機会を市としてもたくさん作っています。市の情報をよく知っていただいている方には大いに活用していただいているようで嬉しいです。ただ、そういった取り組みを知らない方のために、市のさまざまな制度やイベント、取り組みについて、色々な世代に伝わる情報発信をしっかりとしていかなければと感じました。

